

[表面] 試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。
(裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません)

第二種電気工事士 技能試験 [試験時間 40分]

<< 注意事項 >>

1. 受験番号札に受験番号及び氏名を記入し、試験終了後、作品にしっかりと取り付けてください。取り付け位置は、どこでも結構です。
2. 試験終了後、作業を続けている場合は、失格となります。

<< 支給材料等の確認 >>

試験開始前に監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良、破損や不足等があれば監督員に申し出てください。

試験開始後の支給材料の交換には、一切応じられませんので、材料確認の時間内に必ず確認してください。
なお、監督員の指示があるまで照合はしないでください。

材 料	
1. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (シース青色), 2.0mm, 2心, 長さ約 350mm	・ 1本
2. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 2.0mm, 3心, 長さ約 350mm 1本
3. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 1.6mm, 2心, 長さ約 1650mm 1本
4. 端子台 (配線用遮断器, 漏電遮断器 (過負荷保護付) 及び接地端子の代用), 5極 1個
5. ランプレセプタクル (カバーなし) 1個
6. 埋込連用タンブラスイッチ 2個
7. 埋込コンセント (20A250V 接地極付) 1個
8. 埋込連用コンセント 1個
9. 埋込連用取付枠 1枚
10. リングスリーブ (小) (予備品を含む) 5個
11. 差込形コネクタ (4本用) 1個
・ 受験番号札 1枚
・ ビニル袋 1枚

<< 追加支給について >>

ランプレセプタクル用端子ねじ, リングスリーブ及び差込形コネクタは, 作業のやり直し等により不足が生じた場合, 申し出 (挙手をする) があれば追加支給します。

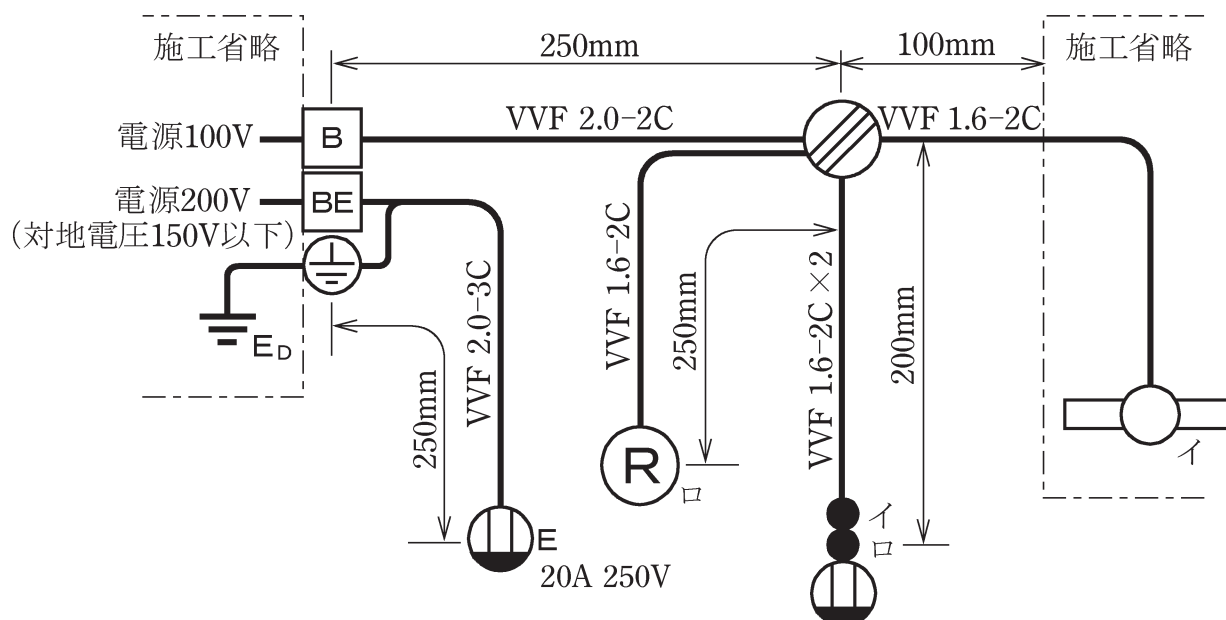
技能試験問題 [試験時間 40分]

図に示す低圧屋内配線工事を与えられた全ての材料(予備品を除く)を使用し、〈 施工条件 〉に従って完成させなさい。

なお、

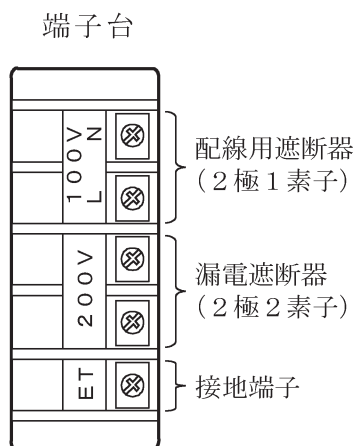
1. 配線用遮断器、漏電遮断器(過負荷保護付)及び接地端子は、端子台で代用するものとする。
2. --- で示した部分は施工を省略する。
3. VVF用ジョイントボックス及びスイッチボックスは支給していないので、その取り付けは省略する。
4. 電線接続箇所でのテープ巻きや絶縁キャップによる絶縁処理は省略する。
5. 作品は保護板(板紙)に取り付けられないものとする。

図1. 配線図



- 注：1. 図記号は、原則として JIS C 0303:2000 に準拠している。
また、作業に直接関係のない部分等は省略又は簡略化してある。
2. (R) は、ランプレセプタクルを示す。

図2. 配線用遮断器、漏電遮断器及び接地端子代用の端子台の説明図



〈 施工条件 〉

1. 配線及び器具の配置は、**図 1**に従って行うこと。
なお、「ロ」のタンブラスイッチは、取付枠の中央に取り付けること。
2. 配線用遮断器、漏電遮断器及び接地端子代用の端子台は、**図 2**に従って使用すること。
3. 電線の色別（絶縁被覆の色）は、次によること。
 - ①電源からの接地側電線には、すべて**白色**を使用する。
 - ②100V回路の電源から点滅器及びコンセントまでの非接地側電線には、すべて**黒色**を使用する。
 - ③接地線には、**緑色**を使用する。
 - ④次の器具の端子には、**白色の電線**を結線する。
 - ・コンセントの接地側極端子（**W**と表示）
 - ・ランプレセプタクルの受金ねじ部の端子
 - ・配線用遮断器（端子台）の記号**N**の端子
4. VVF用ジョイントボックス部分を経由する電線は、その部分ですべて接続箇所を設け、接続方法は、次によること。
 - ①4本の接続箇所は、差込形コネクタによる接続とする。
 - ②その他の接続箇所は、リングスリーブによる接続とする。